

水戸芸術館
ART TOWER MITO



- 1 蝶のオートクチュール
- 2 多彩なオートクチュール
- 3 蝶の舞う映像空間
- 4 創作の現場、アトリエより
- 5 森英恵が手がけた舞台衣裳
- 6 銀幕を彩った映画衣裳
- 7 ユニフォーム、日本の顔として
- 8 森英恵のライフストーリー
- 9 ザ・ワールド・オブ・ハナエ・モリ



作品にお手をふれないでください。



写真および動画撮影、録音はできません。



大きな手荷物は1階チケットカウンター横のクロークにお預けください。



展示室内での筆記用具は鉛筆のみご利用いただけます。

HANAEBE MORI 森英恵
世界にはばたく蝶
MADAME BUTTERFLY,
FLYING TO THE WORLD
水戸芸術館開館30周年記念事業

Gallery 1 蝶のオートクチュール

作品のみならず自身も「マダムバタフライ」と称されるほど、森英恵は永年にわたって蝶を描いた作品を創り続けてきました。ひとつのモチーフから多彩な表現が生み出され、森の手によって輝きを与えられた蝶たちはきらびやかなショーのスポットライトの下で美しくはばたいてきました。その世界観をイメージした展示空間の中で、1980—2000年代の蝶をあしらったオートクチュールを展示します。

Gallery 2 多彩なオートクチュール

東洋の美意識と西洋的フォルムから生み出される森のオートクチュールは「東洋と西洋の出会い」として世界で賞賛されてきました。世界のファッションの中心、パリで発表した数々のオートクチュールの中から、特徴的な技法や素材、テキスタイルなどに注目し、厳選された作品を展示します。

Gallery 3 蝶の舞う映像空間

幼少期をすごした島根の旧六日市町には、辺り一面に自然の色彩が溢れ、紋白蝶が飛び交っていたそうです。その思い出の原風景からオートクチュールの世界へとはばたいた森の蝶たち。本展では森が蝶に込めたインスピレーションをイメージした体験型映像作品を展示室に設けました。衣裳から抜け出した蝶が美しく舞う姿を、没入感ある空間でお楽しみください。

演出：齋藤達也、CG：福田泰崇 (dep)、音楽：LADER production

Gallery 4 創作の現場、アトリエより

華やかな世界の舞台裏には、創り手たちの努力が詰まったもうひとつの現場があります。ファッションデザイナーとしてさまざまな現場で仕事する森の写真とともに、オートクチュール制作に欠かせない素材や創り手の息吹を感じさせる道具を展示します。

森英恵の仕事道具一式

アトリエで身につける白衣をはじめ、メジャー、裁ちばさみ、ピンクッション、ボタンなど森愛用の仕事道具。他にパターン袋や生地反、トルソーなど。

Gallery 5 森英恵が手がけた舞台衣裳

オペラやバレエ、能に歌舞伎、美空ひばりの東京ドーム公演や劇団四季の作品など、森は数々の舞台衣裳を手がけてきました。特に、彼女が初めて訪れたニューヨークで観たオペラ「蝶々夫人」が描くかよわい日本人女性像は、彼女の反骨精神を奮起させ世界へはばたくきっかけにもなりました。それ故に浅利慶太と手がけた同公演は彼女にとって重要な意味合いを持っています。数々のステージから代表作を紹介します。

「不死鳥／美空ひばり in TOKYO DOME ～翔ぶ!!新しき空に向かって」コンサート衣裳 1988年
不死鳥のドレスとコクリコをイメージした深紅のドレス
東映太秦映画村 蔵 (ひばりプロダクション貸出)

「AIでよみがえる美空ひばり」衣裳 2019年 ひばりプロダクション 蔵

あれから 「AIでよみがえる美空ひばり」より 2019年
作詞：秋元康、作曲：佐藤嘉風、編曲：野中“まさ”雄一 提供：NHK

衣裳チェックをする森英恵 「AIでよみがえる美空ひばり」より 2019年 提供：NHK

浅利慶太演出「蝶々夫人」衣裳 1985年(ミラノ・スカラ座で初演)

劇団四季 蔵

蝶々夫人第一幕、蝶々夫人第二・三幕、スズキ、ピンカートン、シャープレス、ゴロー、ケイト、母、おば、障子運び、小道具一式

劇団四季「エビータ」衣裳 1996年

エビータ

劇団四季「ミュージカル李香蘭」衣裳 1997年(1991年初演作品)

李香蘭

劇団四季「鹿鳴館」衣裳 2006年

影山伯爵夫人朝子、第一幕、第二幕

劇団四季 公演パンフレット

「エビータ」、「蝶々夫人」、「ミュージカル李香蘭」、「鹿鳴館」

Gallery 6

銀幕を彩った映画衣裳

1950年代から60年代にかけて続いた日本映画の黄金期。当時二十代の森は、小津安二郎や吉村公三郎、大島渚といった映画界を代表する名監督の下で、浅丘ルリ子や岡田茉莉子、石原裕次郎といった銀幕スターらの数百もの映画衣裳を創りました。映像の中での表現を通じ人間の本質について学んだ、若かりし頃の森の仕事についてパネルや映像を交え紹介します。

映画「夜霧よ今夜も有難う」衣裳 1967年 日活 蔵

映画「狂った果実」衣裳 1956年 日活 蔵

映画「夜霧よ今夜も有難う」より抜粋 1967年

監督：江崎実生 ©日活

映画「街燈」より抜粋 1957年

監督：中平康 ©日活

HANAE MORI

映画「わるいやつら」より抜粋 1980年

監督：野村芳太郎 ©松竹株式会社

Gallery 7

ユニフォーム、日本の顔として

世界各地に降り立ってきた日本航空、260名におよぶ日本選手団を送り出したバルセロナ五輪、70年の大阪万博など、森は国際舞台で輝く人々に向けたユニフォームをデザインしてきました。シーンに合わせた機能性と美しさを兼ね備えたユニフォームは、日本の顔として人々に親しまれています。森が手がけたユニフォームの中から、代表作を展示します。

バルセロナオリンピック日本選手団ユニフォーム(男性) 1992年

日本体育大学 蔵(監物永三/体操役員)

バルセロナオリンピック日本選手団ユニフォーム(女性) 1992年

個人蔵(松尾知美/バドミントン女子ダブルス 出場選手)

リレハンメルオリンピック日本選手団ユニフォーム 1994年

帽子：個人蔵(宮部保範/スピードスケート男子500m 出場選手)

コート：小野ひとみ 蔵(小野学/スキージャンプ ヘッドコーチ)

日本航空客室乗務員制服(4—6代目) 1967年/1970年/1977年

日本航空 蔵

水戸芸術館ATMフェイス制服(冬服/夏服) 2000年—

水戸市芸術振興財団 蔵

女性吏員制服(冬服/夏服) 1991年

消防博物館 蔵

島根県芸術文化センター アテンダント制服(冬服/夏服) 2015年—

しまね文化振興財団 蔵

小澤征爾のコンサート用シャツジャケット

Madame Butterfly, Flying to the World

Gallery 8

森英恵のライフストーリー

森英恵は、戦後の日本から世界にはばたいた女性として、多くの人から憧れの眼差しを向けられてきました。華やかなショー、セレブリティとの交流、多彩なアーティストとの交流。しかし、彼女の功績の背後には、語りつくせない努力がありました。日本人として、挑戦を重ねてきた森の半生を、彼女の言葉や写真などを通して辿ります。

表参道ハナエ・モリビルのために田中一光がデザインした蝶のマーク 1978年

香水「Hanae Mori」 1969年

オーデコロン「Hanae Mori」 1969年

発表レセプションでの森の挨拶用手書き原稿 1969年

発表レセプションの招待状とバーグドルフ・グッドマンのパンフレット 1969年

「肖像の風景」奈良原一高 1984年 島根県立美術館 蔵

表参道を夫の森賢氏と散歩する／ハナエ・モリビルの仕事場で／ザ・ベスト・ファイブ'83のレセプション（左から二番目が森英恵氏、右からソニア・リキエル、松本弘子、パレンチノ（背中）、ニューヨーク・タイムズ記者バーナディン・モリスなどの各氏）／ハナエ・モリビルのショーウィンドー

リチャード・アヴェドン 1987年

アヴェドンが撮影して森にプレゼントしたポートレート

森英恵の肖像（右から）

朝井閑右衛門 作

山藤章二 作

トニー・ヴィラモンテス 作「HANA E MORI」 1983年

鈴木八朗 作

山口はるみ 作

サトウサンペイ 作『あしたのデザイン』

文庫版カバーのためのイラスト 1982年

HANA E MORI

手書き原稿『あしたのデザイン』サンケイ新聞掲載 1977年

『あしたのデザイン』ハードカバー版 1979年

装幀：田中一光 挿絵：サトウ・サンペイ 発行：朝日新聞社

『あしたのデザイン』文庫版 1982年

カバー、カット：サトウサンペイ 発行：新潮社

『あしたのデザイン』ハードカバー版見返し

森がブラウスやスカーフに用いた蝶のプリント地

手書き原稿「私の履歴書」日本経済新聞掲載 1994年

『森英恵流行通信』

1号、18号、21号、40号、42号、50号 1966—1968年

発行：ファッションハウス森英恵

提供：INFAS パブリケーションズ

テレビ番組インタビューより 2008年

制作：インファス・ドットコム／INFAS ウェーブ

森英恵 手で創る 2012年

制作：インファス・ドットコム／INFAS ウェーブ

森英恵オートクチュールコレクション／パリ・東京・出雲 1996年

制作：インファス・ドットコム

Gallery 9

ザ・ワールド・オブ・ハナエ・モリ

「ザ・ワールド・オブ・ハナエ・モリ」 1969年

共同監督：奈良原一高、田中一光、成島東一郎 19分31秒 島根県立美術館 蔵

毎時00分から上映します。

Madame Butterfly, Flying to the World